



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アミューズ

コード番号 4301 URL <http://www.amuse.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 畠中 達郎

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員

(氏名) 宮腰 俊男

TEL 03-5457-3358

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	24,827	29.4	2,865	73.3	2,827	70.8	1,607	100.3
23年3月期第3四半期	19,192	△14.1	1,653	△22.3	1,655	△21.8	802	△10.8

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 1,646百万円 (97.4%) 23年3月期第3四半期 834百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	174.07	—
23年3月期第3四半期	86.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	22,518	13,527	58.5
23年3月期	18,257	12,084	64.5

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 13,171百万円 23年3月期 11,766百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
24年3月期	—	10.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	25.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

24年3月期(予想)の期末配当金の内訳 普通配当 10円00銭 記念配当 15円00銭

※平成23年5月12日に公表いたしました24年3月期期末配当金(予想)を修正しております。なお、当該予想値の修正に関する事項は、本日付(平成24年2月14日)で同時に公表いたしました「平成24年3月期(第34期)配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,730	17.6	2,970	37.4	2,920	37.7	1,670	46.9	180.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期3Q	9,311,760 株	23年3月期	9,311,760 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	74,911 株	23年3月期	74,503 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期3Q	9,237,049 株	23年3月期3Q	9,250,314 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 1. 平成23年8月12日に公表いたしました通期連結業績予想を修正しております。なお、当該予想値の修正に関する事項は、平成24年1月31日付で公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。
- 2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
3. 補足情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による停滞から持ち直しの動きがみられましたが、依然として続く電力供給の制約や原子力災害の影響に加え、急速な円高による企業収益の悪化懸念、欧州の政府債務危機などを背景とした海外景気の減速など、厳しい環境が継続しております。

このような状況のなか、当社グループは東日本大震災からの一日も早い復旧復興をお祈りし、被災者の皆様のお役に立てればと願い、アーティスト、社員はもちろんのこと、ファンの方々や全ての関係者の皆様のご協力のもと、募金活動、チャリティCDの発売やイベント開催、グッズ販売など、当社グループができる復興支援活動を考え実行してまいりました。当社グループでは今後も復興に向けた支援活動を継続して行ってまいります。

当第3四半期連結累計期間の事業概況につきましては、営業収入は大型ツアーをはじめ、年末ライブ、イベントを集中的に実施するなど、幅広い年代、ジャンルのアーティストによるライブエンターテインメント活動を積極的に展開しました。それらの会場やオンラインショップで販売するグッズ販売収入も含め好調であり主要な増収要因となっております。

営業利益につきましては上記増収要因によりアーティストマネジメント事業が好調であったこと、メディアビジュアル事業においてDVD販売においてヒット作品があり、全体としては堅調に推移し利益が改善したこと、旧譜音楽コンテンツの活用が拡大し、コンテンツ事業が堅調であったことなどにより、全体として大幅な増益となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの経営成績は営業収入248億2千7百万円（前年同期比29.4%増）、営業利益28億6千5百万円（前年同期比73.3%増）、経常利益28億2千7百万円（前年同期比70.8%増）、四半期純利益16億7百万円（前年同期比100.3%増）となり大幅な増益となりました。また、計画に対しても好調に推移いたしました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

〔アーティストマネジメント事業〕

当事業につきましては、福山雅治の大型全国ツアーをはじめ、桑田佳祐、ポルノグラフィティ、f l u m p o o l、ONE OK ROCKなどのコンサートやTEAM NACSのソロ公演、若手俳優が一同に集うファン感謝祭イベントなど、幅広い年代、ジャンルのアーティストによるライブエンターテインメント活動を積極的に実施し、グッズ販売も含め好調であり主要な増収増益要因となりました。さらに、福山雅治、桑田佳祐、三浦春馬、佐藤健など、厳しい環境ではありましたが利益貢献の高いCM収入が好調であったことも増益の要因となりました。

この結果、営業収入189億8千2百万円（前年同期比52.5%増）、セグメント利益27億4千7百万円（前年同期比36.3%増）となりました。

〔メディアビジュアル事業〕

当事業につきましては、DVD販売におきまして、前年同期に比べ大型作品が少なかったことにより減収となりましたが、韓国若手俳優チャン・グンソク主演「メリは外泊中」がヒットしたことをはじめ、上野樹里主演大河ドラマ「江 姫たちの戦国 完全版」、邦画「八日目の蝉」、NHKドラマ「セカンドバージン」、劇場版アニメ「忍たま乱太郎」など多様なラインナップを展開し全体としては堅調に推移したことにより利益が改善し、大幅な増益となりました。

この結果、営業収入42億9千7百万円（前年同期比19.2%減）、セグメント利益3億1千6百万円（前年同期比217.4%増）となりました。

〔コンテンツ事業〕

当事業につきましては、サザンオールスターズ、福山雅治、BEGIN、ポルノグラフィティ、Perfumeなどによる旧譜楽曲の販売及び旧譜楽曲の二次使用による印税収入でありましたが、新譜楽曲の発売が好調に推移しているに伴い、旧譜音楽コンテンツ活用も堅調に推移し、特に著作権印税や貸与報酬の増加により増収増益となっております。

この結果、営業収入15億4千8百万円（前年同期比8.2%増）、セグメント利益4億4百万円（前年同期比45.1%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は225億1千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ42億6千1百万円増加いたしました。主な要因としましては、営業活動に伴う流動資産「商品及び製品」の減少、減価償却費の計上による固定資産「有形固定資産」及び「無形固定資産」の減少要因などはありませんでしたが、営業活動に伴う流動資産「現金及び預金」及び「受取手形及び営業未収入金」の増加、関係会社設立に伴う固定資産「投資有価証券」の増加要因などが上回り、全体としては増加しております。

当第3四半期連結会計期間末の負債は89億9千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ28億1千8百万円増加いたしました。主な要因としましては、営業活動に伴う流動負債「営業未払金」の増加、流動負債「未払法人税等」の増加要因などであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は135億2千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億4千3百万円増加いたしました。主な要因としましては、四半期純利益の計上に伴う「利益剰余金」の増加要因などです。この結果、自己資本比率は58.5%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は85億7千8百万円となり、前連結会計年度末と比較して27億9千4百万円の増加となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は下記のとおりであります。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動の結果獲得した資金は32億9千2百万円（前年同期は22億6千2百万円の獲得）となりました。

これは、主に法人税等の支払額及び営業債権の増加に伴う資金減少要因等はありませんでしたが、税金等調整前四半期純利益及び営業債務の増加に伴う資金増加要因等が上回ったことによるものであります。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動の結果使用した資金は2億7千5百万円（前年同期は1億7千3百万円の使用）となりました。

これは、主に投資有価証券の取得による支出及び無形固定資産の取得による支出に伴う資金減少要因等によるものであります。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動の結果使用した資金は2億1千3百万円（前年同期は2億5千8百万円の使用）となりました。

これは、主に配当金の支払額及び少数株主への配当金の支払額に伴う資金減少要因等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年8月12日に公表いたしました通期連結業績予想を修正しております。詳しくは、平成24年1月31日付公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※上記の予想は、当企業グループが本資料発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいたものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,802,894	8,596,596
受取手形及び営業未収入金	3,201,304	4,727,506
商品及び製品	1,411,483	1,010,172
仕掛品	1,194,412	1,354,020
貯蔵品	35,853	43,495
その他	1,274,179	1,423,567
貸倒引当金	△134,587	△183,428
流動資産合計	12,785,539	16,971,931
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,110,411	1,057,198
土地	1,760,487	1,760,487
その他（純額）	115,133	94,669
有形固定資産合計	2,986,031	2,912,355
無形固定資産	293,530	253,967
投資その他の資産		
投資有価証券	475,067	714,786
その他	1,729,522	1,675,996
貸倒引当金	△12,551	△10,394
投資その他の資産合計	2,192,038	2,380,388
固定資産合計	5,471,600	5,546,712
資産合計	18,257,139	22,518,643

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	3,931,574	6,353,849
未払法人税等	589,283	796,393
役員賞与引当金	20,660	—
返品調整引当金	28,560	16,700
その他	644,758	823,428
流動負債合計	5,214,836	7,990,372
固定負債		
退職給付引当金	762,225	807,293
役員退職慰労引当金	16,472	16,472
その他	179,541	177,049
固定負債合計	958,238	1,000,814
負債合計	6,173,074	8,991,187
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,587,825	1,587,825
資本剰余金	1,694,890	1,694,890
利益剰余金	8,727,247	10,147,942
自己株式	△76,920	△77,292
株主資本合計	11,933,041	13,353,364
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,649	3,613
為替換算調整勘定	△169,856	△185,665
その他の包括利益累計額合計	△166,207	△182,052
少数株主持分	317,230	356,143
純資産合計	12,084,065	13,527,456
負債純資産合計	18,257,139	22,518,643

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
営業収入	19,192,830	24,827,660
営業原価	14,825,227	19,395,540
営業総利益	4,367,603	5,432,120
返品調整引当金戻入額	12,466	11,860
差引営業総利益	4,380,069	5,443,980
販売費及び一般管理費	2,726,211	2,578,126
営業利益	1,653,858	2,865,853
営業外収益		
受取利息	4,325	4,696
受取配当金	3,652	2,393
持分法による投資利益	—	9,349
受取手数料	2,254	10,018
その他	12,458	2,448
営業外収益合計	22,690	28,906
営業外費用		
事業組合投資損失	—	28,941
為替差損	9,588	30,839
その他	11,006	7,382
営業外費用合計	20,594	67,163
経常利益	1,655,954	2,827,596
特別利益		
投資有価証券売却益	15,625	—
特別利益合計	15,625	—
特別損失		
投資有価証券評価損	21,542	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	16,068	—
その他	973	—
特別損失合計	38,584	—
税金等調整前四半期純利益	1,632,995	2,827,596
法人税、住民税及び事業税	650,026	1,213,491
法人税等調整額	128,765	△48,528
法人税等合計	778,792	1,164,963
少数株主損益調整前四半期純利益	854,202	1,662,633
少数株主利益	51,600	54,699
四半期純利益	802,602	1,607,933

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	854,202	1,662,633
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,415	△35
為替換算調整勘定	△27,234	△15,809
その他の包括利益合計	△19,819	△15,844
四半期包括利益	834,383	1,646,788
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	782,783	1,592,089
少数株主に係る四半期包括利益	51,600	54,699

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,632,995	2,827,596
減価償却費	161,819	158,803
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△220,343	46,684
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△12,180	△20,660
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△12,466	△11,860
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	77,082	45,068
受取利息及び受取配当金	△7,977	△7,089
持分法による投資損益 (△は益)	—	△9,349
投資有価証券売却損益 (△は益)	△15,625	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	21,542	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	16,068	—
事業組合投資損益 (△は益)	—	28,941
営業債権の増減額 (△は増加)	381,070	△1,526,203
たな卸資産の増減額 (△は増加)	502,982	234,059
営業債務の増減額 (△は減少)	△343,378	2,422,275
未払消費税等の増減額 (△は減少)	104,707	59,960
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△154,258	△95,031
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	140,557	176,243
その他	154,971	△35,362
小計	2,427,566	4,294,075
利息及び配当金の受取額	8,084	4,248
法人税等の支払額	△333,942	△1,005,448
法人税等の還付額	160,919	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,262,627	3,292,875
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△25,375	△19,580
有形固定資産の売却による収入	5,029	8,279
無形固定資産の取得による支出	△175,916	△38,482
無形固定資産の売却による収入	51,257	—
投資有価証券の取得による支出	—	△216,200
投資有価証券の売却による収入	34,860	9,487
子会社株式の取得による支出	△55,732	△14,551
貸付けによる支出	△26,250	△2,500
貸付金の回収による収入	16,810	3,955
その他	1,753	△5,571
投資活動によるキャッシュ・フロー	△173,564	△275,165
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△56,193	△495
自己株式の売却による収入	2,008	105
配当金の支払額	△184,753	△182,439
少数株主への配当金の支払額	△3,096	△15,786
その他	△16,584	△14,808
財務活動によるキャッシュ・フロー	△258,619	△213,423
現金及び現金同等物に係る換算差額	△16,220	△9,466
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,814,223	2,794,820
現金及び現金同等物の期首残高	3,638,819	5,783,607
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,453,043	8,578,427

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アーティスト マネージメント 事業	メディア ビジュアル 事業	コンテンツ 事業	計		
営業収入						
外部顧客への 営業収入	12,443,970	5,317,438	1,431,421	19,192,830	—	19,192,830
セグメント間の 内部営業収入 又は振替高	74,644	276,708	48,490	399,842	△399,842	—
計	12,518,614	5,594,146	1,479,912	19,592,673	△399,842	19,192,830
セグメント利益	2,015,622	99,777	278,936	2,394,337	△740,479	1,653,858

(注) 1. セグメント利益の調整額△740,479千円には、セグメント間取引消去1,415千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△741,894千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アーティスト マネージメント 事業	メディア ビジュアル 事業	コンテンツ 事業	計		
営業収入						
外部顧客への 営業収入	18,982,076	4,297,244	1,548,340	24,827,660	—	24,827,660
セグメント間の 内部営業収入 又は振替高	38,632	256,235	115,888	410,755	△410,755	—
計	19,020,708	4,553,479	1,664,228	25,238,416	△410,755	24,827,660
セグメント利益	2,747,576	316,670	404,731	3,468,978	△603,125	2,865,853

(注) 1. セグメント利益の調整額△603,125千円には、セグメント間取引消去6,618千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△609,743千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

3. 補足情報

持分法適用の範囲の変更

第1四半期連結会計期間より、新たに設立した株式会社ライブ・ビューイング・ジャパンを持分法適用の範囲に含めております。